



まちのできごと

9/16 幌内地区敬老会 ありがとうの気持ちを込めて

幌内歴史と生活の家で地域の高齢者を招き、敬老会が行われました。来賓の中川原町長から「これまでの多大なご尽力やご苦労に対しまして、心から感謝と慰労を申し上げます」と挨拶を受けた後、出席された13人には、前日に水揚げされた鮭を使った鮭汁が振る舞われたほか、ビンゴ大会などで楽しいひと時を過ごしました。敬老会の準備をしていた婦人部の方は「長年町を支えてくださったことと、日頃の感謝を込めてもてなしたいと思います」と話していました。



↑美味しい鮭汁を味わう出席者

9/20 小高交流会 小学生とふれあう

雄武高校体育館で雄武小学校3・4年生48人を迎える交流会が行われました。雄武高校の1年生がリーダー役となり、交流会ではゲーム「あとだしジャンケン」や人前で話す力を身に付けるために、小学生と話し合いながら工夫してお互いに自己紹介しました。また、グループに分かれて行った「風船ゲーム」では、高校生も一緒に楽しく、交流を深めていました。最後に、高校生からは「将来、雄武高校に来ることを楽しみにしています」と挨拶がありました。



↑高校生の考えたゲームで遊ぶ児童

↓献花を行う中川氏



8/31 戦没者追悼式 戦後73年を迎え

雄武町民センターで、平成30年雄武町戦没者追悼式が挙行されました。式典には遺族の方々や来賓が参列。国歌斉唱、黙とうが行われ、雄武町遺族会会長中川氏から「この平和の意義を（戦後）73年という年月に改めて感じながら、私たちは、一歩ずつ明るい未来に向かい、進んで行かなくてはなりません」と追悼の辞が述べられました。

式の最後では、144名の戦没者に対して参列者全員で献花を行い、戦没者の冥福と平和を祈りました。

↓遠足を楽しむ園児



9/4 遠足（若草保育所） 手を繋いで仲良く歩こう

若草保育所の園児が、宮の森公園まで遠足を行いました。当日は絶好の遠足日和で、元気に楽しく歩きました。公園が見えてくると、園児たちは一斉に歓声を上げ、着いたと同時に公園内を走り回っていました。お昼は、公園の芝生に広げたシートの上でご飯を食べました。いつもと違った環境での食事でしたが、園児たちは先生のいうことを聞いて行儀よく食べていました。

↓祭りを楽しむ来場者



9/23 第12回雄武の宝うまいもんまつり 来場者で賑わう

今年で、12回目となるうまいもんまつりが、ふるさと100・メモリアル広場で開催されました。会場では、雄武産鮭を使ったチャンチャン焼きの無料配布、雄武牛のステーキやハンバーガー、手打ち韃靼そばなどの地元食材を使った品が販売されました。天候は優れなかったものの、多くの来場者で賑わい、一部店舗では早々に売り切れとなる品もありました。また、鮭のつかみ取りや、玉ねぎ詰め放題など、来場者参加型の催しも多く、会場各所で楽しんでいる姿がみられました。

9/2 こどもまつり 笑顔が溢れる

児童センターでこどもまつりが開催され、大勢の子どもたちが会場に集まりました。オープニングセレモニーでは、子どもたちによるダンスなどが披露されました。児童センター内会場では、ヨーヨー釣りや射的など、楽しい遊びがたくさん用意されていて、子どもたちは夢中になっていました。お昼には流しそうめんも行われ、流れてきたそうめんを口いっぱいにはおぼり、子どもたちは笑顔を見せていました。



↑流しそうめんをする子どもたち

↓銀メダルを来場者に見せる葛西さん



9/23 平成30年度アスリート塾 夢は、努力でかなえる

雄武町民センターで、町教育委員会主催によるアスリート塾「葛西紀明講演会」が行われました。講演会では、葛西選手が五輪メダリストとなるまでの道のりを話しました。テレビなどではレジェンドと呼ばれる葛西選手ですが、苦難にぶつかることや、不調に陥ったこともあり、そんな状況でも「継続すること」で乗り越えてきたと熱く話してくれました。講演の途中では、五輪のメダルを来場者全員に触らせてくれるサプライズもあり、なかなか触れることのできないメダルの重さを感じることができました。